

目次

はしがき

序章 二〇二一年衆院選の位相……………白鳥 浩… I

1 野党の変容 I

「九三年体制」下の基軸野党——ポスト冷戦期の日本 基軸野党の消滅——「百合子フィーバー」と野党第一党の分裂 野党共闘へ向けて——二〇二〇年東京都知事選と立国合流

2 リモート・デモクラシーの出現 4

デモクラシー概念の変容——リモート・デモクラシーの出現 政治システムの変動——リモート・デモクラシーにおける参加 集団の機能不全——コロナ禍の情報提供と動員

3 選挙過程の変化 8

コロナ禍の世代別投票率——「シルバー・デモクラシー」を超えて 政治活動の変容——リモート・デモクラシーの影響

4 政治リーダーの変化 II

政党リーダー——「選挙のカオ」としての資質 野党共闘——衆院選の前哨戦としての東京都議選 退陣に追い込まれる菅首相 地方選の影響——コロナ禍の選挙と衆院選直前の首相交代

5 二〇二一年衆院選の結果 15

選挙の結果——自民党は勝利したのか　コロナ禍の選挙——リモート・デモクラシーの深化　新たな「凍結」？——日本におけるクリーヴィッジ概念

第Ⅰ部 複合選挙としての衆院選

第1章 コロナ禍の野党共闘と第三極の躍進……………白鳥 浩…27

——東京五区・八区・神奈川二三区——

1 地方選挙、国政選挙と小選挙区制、比例代表制——選挙の位相 27

2 衆院選の背景としての地方選挙 28

国政選挙の前哨戦としての地方選挙——不適合となった旧来の政治様式 二〇二〇

年東京都知事選——小池都知事によるリモート・デモクラシーの実践 二〇二二年

東京都議選——「二つのスウィング」と都民ファーストの会の勢力維持 二〇二二年

横浜市長選——「コロナの専門家」対「菅政権閣僚」

3 「政権選択」としての小選挙区——一対一の対決構図 35

4 「政党選択」としての比例代表——野党共闘と比例復活 39

東京・神奈川における維新進出——トリプル・ウィナー現象とスプリット・ウィナー

現象　トリプル・ウィナー現象とスプリット・ウィナー現象の背景

5 二つのセットの「二つのスウィング」——「小選挙区と比例代表」と「国家と地域」 46

第2章 候補者全員の当選……………丹羽 功…52

——奈良一区——

1 二〇一〇年代以降の奈良一区をめぐる政治 52

奈良県 の政治状況 今回総選挙までの奈良一区の動向 告示前後までの情勢

2 選挙戦の経過と選挙結果 56

選挙の焦点としての生駒市 静かな選挙運動——小林・馬淵の選挙活動 政党が
前面に出た選挙運動——前川の選挙運動と公明党・共産党の活動 候補者全員の当
選

3 野党共闘と市長選 61

野党共闘の効果 市長選と総選挙における維新支持

4 個人中心の選挙と有権者 64

有権者の投票理由と候補者側の動機 選挙の図式は変化するのか

第3章 知事選・参院補選との複合選挙……………白鳥 浩…68

——静岡三区・五区・八区——

1 二〇二二年静岡県知事選——「川勝フィーバー」と劇場型政治 68

「川勝フィーバー」と「いのちの水」 劇場型政治としての「川勝劇場」

2 二〇二二参院補選——「静岡ショック」 73

選挙戦の展開 選挙結果と影響

3 「保守分裂」静岡五区の構造 76

静岡五区における着目点 細野の勝因、吉川の敗因

4 野党共闘による与党の敗北 81

静岡三区・八区の選挙結果 複合選挙と「静岡ショック」

第Ⅱ部 「野党共闘」の実態

第4章 「野党共闘」成立の条件……………山本健太郎…93

——北海道二区・五区——

1 共闘の原点 93

2 北海道における野党共闘 95

3 「元祖」共闘はなぜ崩壊したか——北海道五区 97

共闘の原点——二〇一六年衆院補選 さらに肉薄——二〇一七年衆院選 二〇二

一年衆院選まで 共闘の崩壊——二〇二二年衆院選

4 継続した共闘——北海道二区 104

不戦勝——二〇二二年衆院補選 共闘の継続——二〇二二年衆院選

5 共闘の条件 107

第5章 一騎打ち構図の形成……………出水 薫…110

——福岡五区——

1 福岡県下小選挙区結果の概要 110

自民独占のほころび 一騎打ち選挙区の結果 維新候補

第6章 自公政権に敗れた「オール沖縄」……………久保慶明…129

——沖縄三区——

1	沖縄三区の議席変動	129
2	政策争点の変化	135
3	選挙協力の変化	138
4	「オール沖縄」対「自公」のゆくえ	142

2	五区の選挙結果と、検討における注目点	112
---	--------------------	-----

3	公認をめぐる自民内の対立	115
---	--------------	-----

公認をめぐる自民現職と県議団の対立	自民党県連による調整の行き詰まり	自
-------------------	------------------	---

民党本部の介入と対立の継続		
---------------	--	--

4	野党の候補調整と自民の分裂回避	119
---	-----------------	-----

野党候補の競合と一本化	自民の分裂回避	自民分裂と野党候補一本化の選挙過
-------------	---------	------------------

程における影響		
---------	--	--

5	示された検討課題	124
---	----------	-----

第7章 与野党激突型なき選挙戦における野党勝利……………芦立秀朗…145

——京都一～六区——

1 京都府内六選挙区の概要と野党共闘の難しさ……………145

2 京都一区の選挙戦……………147

京都一区の選挙戦の歴史——中選挙区時代から 維新の躍進と京都一区——「トリブル・ウィナー」の誕生 選挙区「すみ分け」とその成果——共闘の温度差

3 立憲民主党に加わらなかった元「希望の党」候補者の選挙戦——維新支持層との関係……………152

二〇一七年衆院選から二〇二二年衆院選へ——野党再編と候補者の動向 維新支持層からの支持——二〇二〇年京都市長選から継続する流れ 京都四区選挙戦

4 二〇二二年参院選への示唆——非自民非共産は一本化するのか……………155

第8章 「民主党王国・愛知」の落日……………後 房雄…160

——愛知一一区——

1 総選挙結果からみる「民主党王国・愛知」の盛衰……………160

2 愛知県一一区の結果……………163

3 全トヨタ労連の新方針の他小選挙区への影響……………165

4 愛知一一区トヨタ議員の不出馬の深層……………168

全トヨタ労連の方針転換 不出馬事件の真相 連合会長の交代と発言の変化

5 かつての「民主党王国・愛知」の今後……………177

第Ⅲ部 代議士たちの苦闘

第9章 なぜ君は小選挙区で勝てたのか……………堤英敬 道哉……………183

——香川一区——

1 七度目の対決前史 183

香川一区の特徴と小川・平井のプロフィール 香川一区における小川と平井の対決

2 二〇一七年以降の動き——向上した知名度 187

統計不正問題の追及 「なぜ君は総理大臣にならないのか」 平井の失言問題と接

待問題

3 選挙戦の構図——日本維新の会の候補者擁立と野党共闘 189

香川一区における野党共闘 崩れる一騎打ちの構図

4 二〇二二年衆院選の選挙キャンペーン 192

小川の新たな選挙キャンペーン——青空対話集会とSNSの活用 小川による「地

上戦」——小豆島と企業への浸透 平井の選挙キャンペーン

5 なぜ小川は小選挙区で勝てたのか 196

香川一区の有権者の投票行動 小川の勝因と今後の展望

第10章 一七年ぶりの国政返り咲き……………河村和徳…203

——宮城二区——

1 衆議院議員辞職、そして流浪の選挙遍歴へ……………203

候補者公募の功罪 苦難の道の発端となった選挙違反事件 流浪の末に

2 秋葉に肉薄した二〇一七年衆院選……………208

無所属での出馬 秋葉陣営が抱えていた課題

3 予想よりも僅差であった二〇二一年衆院選……………213

緊急事態宣言等の解除の影響 足を引っ張った民主党OG

4 鎌田の返り咲きからの気づき……………217

第11章 現職復興副大臣はなぜ小選挙区で勝てなかったのか……………河村和徳・竹田香織…222

——福島一区——

1 福島一区の状況……………222

2 亀岡の得票はなぜ伸び悩んだか……………225

支持固めに影響した新型コロナウイルスの感染拡大 選挙スケジュールの綾 延

期された復興五輪 ALPS処理水の海洋放出

3 金子はなぜ勝ちきれたのか……………229

4 福島で野党共闘は必要だったのか……………230

第12章 「小沢王国」の落日……………伊藤裕顕…236

——岩手三区——

1 小沢一郎小選挙区落選の衝撃……………236

世代交代待望論が主因か 挑戦四回目での勝利

2 選挙戦の実相……………239

旧態依然とした選挙手法 可視化できる活動に乏しかった小沢
原、忠誠度が揺らいだ小沢 牙城を崩した藤

3 盛り上がりを欠いた政策論争……………246

示されなかった世代間の対立軸 震災復興を語らなかった復興政務官

4 世代交代を突きつけられる小沢王国……………248

三つの敗北と岩手政界の今後 組織選挙に取り残された無党派層

第13章 辻元の敗北と維新の躍進……………善教将大…255

——大阪一〇区——

1 大阪一〇区における辻元の敗北……………255

2 分析枠組みと仮説……………258

候補者重視から政党重視へ 受け皿として機能した維新

3 変わらなかった辻元人気……………261

辻元へのインタビュー調査 自然実験による辻元人気の検証

4 投票選択——責任帰属と業績評価……………265

関西圏における比例相対得票率の変動 責任帰属と業績評価 立民支持の凋落の

5	立民不支持の帰結としての辻元落選	269
	個人投票を凌駕した政党投票	政党投票の行く末

第14章 新人候補の強みと弱み……………岡田 浩…273

——石川一区——

1	選挙の概要	273
2	前職はなぜ強いのか	275
	前職の強さ	先行研究の検討
3	有権者の投票行動は前職と新人でどう違ったか	279
4	候補者についての有権者の意識	280
	認知度	イメージ
		好感度
5	新人への交代が及ぼした影響	286

第15章 候補者と有権者はネットをどのように使ったのか……………岡本哲和…290

——二〇二一年衆院選調査による概観——

1	二〇二一年衆院選における候補者のネット利用状況	290	
	ウェブサイト	ツイッター	フェイスブック
2	政党・地位ごとに見たネット利用状況	293	
	政党ごとのネット利用状況	候補者の地位ごとのネット利用状況	
3	候補者によるネット利用のタイプ	297	

インターネット利用のタイプ ネット「非利用」タイプの特徴

4 インターネットを介した有権者による選挙情報との接触状況

299

調査の概要 接触経験率

5 インターネット選挙情報に接触した理由とその影響

301

インターネット選挙情報に接触した理由 インターネット選挙情報への接触が与えた影響 インターネット選挙情報への接触と投票との関係

人名索引

※本書では選挙名や政党名が頻出するため、適宜次のように略記した。

選挙名…「衆院選」(衆議院議員総選挙)、「参院選」(参議院議員通常選挙)、「都知事選」(東京都知事選挙)、「都議選」(東京都議会議員選挙)、「県議選」(県議会議員選挙)、「市長選」(市長選挙)、「市議選」(市議会議員選挙)など。

政党名…「自民」(自由民主党)、「立民」(立憲民主党)、「国民」(国民民主党)、「維新」(日本維新の会)、「共産」(日本共産党)、「れいわ／れい」(れいわ新選組)、「社民」(社会民主党)、「都民ファ」(都民ファーストの会)、「民主」(民主党)、「民進」(民進党)、「希望」(希望の党)、「NHK党／N党」(NHKと裁判してる党弁護士法七二条違反で)、など。